

(一) 世に、各人の平等を以て根本主義となす者あれども大なる誤りなり。

(二) 之を道徳の方面より見るも、親と子と何れが尊きか子は親のため、親は子のために互ひに相謀るが自然なるが如く、子としては親に譲るを以て一般の法則となすべきなり。

(三) 又少者は老者を敬し、これに譲るを以て人情の自然となす、孟子が七十のもの帛衣肉を食ひといひ、老者に厚くすべきを言へるは當然といふべきなり。

世に貧者あり、富者あり貧者が襟襷を纏ふも人見て當然となし、敢て怪しむものなきも、富者若し粗衣を着け、ひやめし草履を穿ち三度の食事も膳に向はず唯厨房に立んで、用を辨するが如くならんか、人以て客齋となし、或は質朴を衒ふものとなすべし。獨り富者のみにあらず、人の師と仰がれ、又は先覺者として望

春が來た。春が來た。春が來た。春が來た。

(一) まるゝものは、人亦これに厚くせんことを希望し、餘りに粗衣粗食なるは萬人の望む所にあらざるなり。

(二) カントの言へるが如く徳人は幸福の伴ふことを望ましけれ。此の如き希望は一般共通のことなれば社會の組織も亦此の心理の上に築かるゝものと謂はざる可からず。

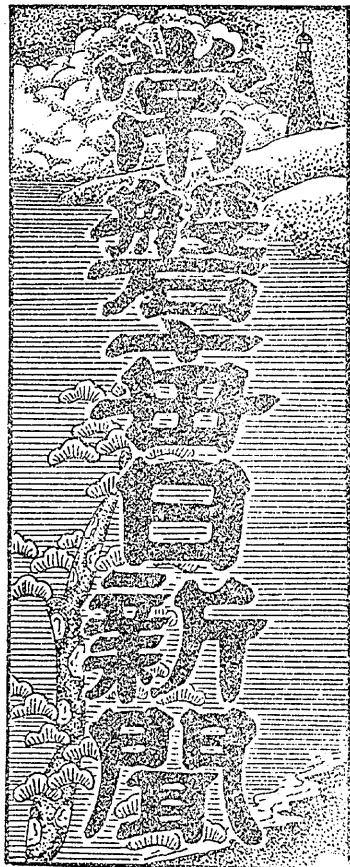
春が來た。春が來た。春が來た。春が來た。

(一) 我が故郷は盡の故郷思ひは走るそれぐに故郷戀しや懷しや。

(二) 裏の御山の白百合やつたや紅葉の花の咲く御山戀しや懷しや。

(三) 瀬戸の小川で友人と舟や魚とたわむれし友人戀しや懷しや。

【刊夕】日七月四



原五穀郎 錢十五月一 錢武金部一 價定
錢十五行一詰字三十號五 料告廣
治文崎川 人刷印人輯編兼行發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番○三六詰電 社聞新日每磐常 所行發
社會式株刷印 日每磐常 所刷印

(一) 深山の雪が薄消いて
春が來た。
(二) お家の庭の梅の花
きれいに咲いて
(三) 春が來た。

春が來た
童謡詩
黒井春美作



看護婦急派
の求めに應じます

平看護婦會
電話三〇七番

市原醫院
平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科、一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
平院隨時

タヒラーテーバンヤスイ

● 學帽は十五錢より……
● ランドセルは八十五錢より……
● カバン勿論格安品計りです……
モリタヤ洋品店
5丁目電353

貸切の●●●
御用命はゼヒ
電話三九五番へ
芹澤自動車商會
タクシ一部
貨物運輸部

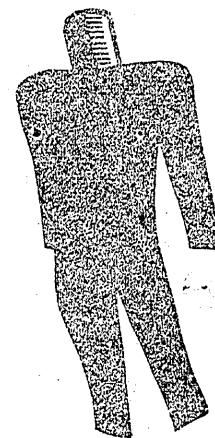
春の帶側
優秀特選
最も新らしき柄の
銘仙とモスリン着尺
いづれも新品豊富に取揃へました
是非御覧下さい

三井呉服店

春の洋服

今春の新柄が豊富に品揃ひ致しました。

新柄 背廣……14圓50錢ヨリ
黒セル背廣……7圓50錢ヨリ
レインコート……8圓00錢ヨリ
バーバリ……5圓50錢ヨリ
バントハビ……7圓50錢ヨリ



なかや洋服店

平電 203

説明書き袋入一袋二十五錢

グラデオラス
ダーリン
チュベローズ

四町平目丁
マツモト子園藝
部番四一二話電

毛糸と編物用具は
ハシモトヤへ

優等百合印毛糸 高級霜降毛糸
優等中細毛糸 優等極細毛糸
スコツチ毛糸 英國製毛糸

平町田町 ハシモトヤ糸店

こゝにも

興間縣立回春園 一萬五千餘圓不足

七百圓念出に

四倉行懶む

補助金猛運動

地方多年の懸案がやつとか

なつて有頂天の喜びにした

つた四倉漁港の修築も昭和

六年度から着工の豫定にあ

るが國庫の補助金が緊縮豫

算の關係から當初豫定の補

助額交付が目下の望み薄の

大舉上京主務省に向け猛運

動を試みることになつたこ

れと同時に地元負擔の七萬

圓が漁業組合で一文の負擔

能力もなく結局町で捻出せ

ねばならぬ状態にあるこの

財源難の時節柄、いまだに行

惱みを繰返してゐる

始末には弱つてゐる

即ち同園の主なる收入と見

るべきは入園料で

一、恩賜財團濟生會委托

患者一圓三十六錢

赤十字社福島支部委

托患者一圓八十錢

その以外患者二圓五

十錢

の割合で徵收してゐるが「

その以外患者」の豫算の如

きは一日十五人平均の入院

見込みをした處實際におい

ては

一日二人乃至四人で

ありその他もこれに準じて

多少過大に見積られた豫算

にも起因するが他面不景氣

の底が斯く入院見積り

減を來したものであると觀

られてゐる

今話の題

一、人を訪問するには不意に迷惑のかゝらぬ様にしたい、訪問打合には日取りの打合せを行ふやうにしたい

い大和の子でも、南京虫に攻められた跡のうづ痒ゆきの程度位には、旅愁を感するが、先づ以つて常であらう

◇此の際、此の時、車外に見る帝國軍人の雄姿と、車内に黙々として警戒する警官の銳視に、どんなに心強きを感じる事であらう

◇僕は溝州を旅行して、今更ながら、日本の國に生れた有難さを必々と感じ日本人たるの優越感を幸福に享受する機會を握り得た

前局平

見花

非是の當辨詰折文注御すまひひ願を文

はに

致行

致行</

光頭**井上さん****「優光賞」**

光頭で消すと

大會の演説が大好評

關東北の光頭大會は秩父長
靜においてさる五日開かれ
た各縣から我等の有志が 參加到る處に
光頭洪水を現出し春光を漲
らした本縣からも二名出席
その一人は平町消防組頭石城政友幹事長の井上茂作さ
ん光り方優秀にて「優光禿
頭賞」を贈られ大元氣で大會に「赤
い思想の火災は、もへ草の
少い我等の光頭で揉み消す
と」大氣焰を吐きこれ又大
會中一番の好評を博したと**山崎會長重任を****固辭して受けず**

町農會の將來に暗影

無用の長物視する折柄

平町農會新總代會は十三四
日頃開催農會長の選舉を行
ふ筈であるが現會長山崎與三郎氏は重任の呼び聲ある
も既に前回より無理強され
てゐたので今回も飽くまで
固辭する意向であり然もた
まく町農會主任渡邊多次
郎氏がこの程退職するに至
つたため同氏の退意を一層
に強めたものともいふべく
従つて目下の處後任者は
五里霧中にある狀態大會の演説が大好評
を訪へばあれは何でもない
僕も光頭だから演説に共鳴した人が多く愈
快であつた

藤田卒業式

製作品展開く
平町私立藤田女學校の卒業
式は九日午前九時から同校
講堂に舉行十日は卒業生製
作品展覽會その他參考品陳
列一般に供覽する度事業打合せはす
署管内獵友會春季總會は十
七日午前十時より植田町岩
間海岸に開催終了後競射會
を催す**小兒の****弄火から**

玉川村で火事

石城郡玉川村大原字東田農
新妻ハツ方富納屋から八日午
前二時頃發火したので附近
消防組員、青年團等駆けつ
け消火に盡力した爲同四十
分住家一棟を全焼漸く鎮火
したが損害約百圓で原因は
小兒の弄火からであると植田獵友總會 植田
署管内獵友會春季總會は十
七日午前十時より植田町岩
間海岸に開催終了後競射會
を催す度事業打合せはす
署管内獵友會春季總會は十
七日午前十時より植田町岩
間海岸に開催終了後競射會
を催すに於ける黃色民族 法學
博士 前田實西の風や、強く
晴れたり曇つた今晩も明日も北
西の風や、強く
晴れたり曇つた「家庭教育に就いて」竹浪
友治郎「優等生になる法」
後六、三〇 最新自然科學
論理學お話 「優等生になる法」
後六、〇〇 (子供の時間)東京高等師範學校教授佐
々木秀一講座 「近代數學と論理學
とに於ける基礎問題」 第
伯爵一荒芳德

正午 時報

前一、四〇 經濟市況
井千代賀其他度事業打合せはす
署管内獵友會春季總會は十
七日午前十時より植田町岩
間海岸に開催終了後競射會
を催す度事業打合せはす
署管内獵友會春季總會は十
七日午前十時より植田町岩
間海岸に開催終了後競射會
を催す

治療時間
至午前九時
平田町一九
(藤田女学校)

末廣亭向ヒ

天佑堂

慢性諸病二的確ナ
紫外光線治療

入院自炊の便あり

木村外科醫院
外柳病専門平町五丁目橋際
電話三〇九番

吉田眼科病院

表定價
特卸販理部
約代療
金拾圓
(説明書呈)

お醤油はヤマフル

鰯節 食料品
たひら 正宗
醤油味噌金山崎合名會社
鹽屋
福島縣平町白銀町九
電話(營業部)平
(醸造工場二七番)

新常磐毎日新聞

新常磐